

分校9期生が入学しました

令和8年4月7日(火)、満開の桜に見守られ、豊中高等学校能勢分校で9期生21名の入学式が行われました。新入生は新しい制服に身を包み、希望と緊張が入り混じった表情で式に臨みました。准校長からは「小さな一歩でも挑戦すると世界が広がります。立ち止まりそうになった時には周りの人を頼ってください」と温かいエールが送られました。入学式後は、オリエンテーション、新入生歓迎会、健康診断など慌ただしい日々が続き、4月17日(金)には早くも遠足が実施され、新しいクラスメイトとの交流も深まりました。一日一日を大切に積み重ねながら、自分の可能性を広げてほしいと願っています。

能勢分校
ホームページ

地域魅力化クラブ
Instagramは
分校HPからご覧
いただけます。



2026年度 体育祭を開催しました

5月29日(金)、初夏らしいさわやかな快晴の空の下、体育祭が開催されました。今年度のテーマは『鳥』。各学年団は鳥をモチーフにした個性豊かな団旗を制作し、会場を鮮やかに彩りました。スローガンは『限界のない空の果てを突き抜けろ』。午前中はグラウンドにて、リレー、玉入れ、棒引きなどの定番競技が行われました。選手が走り抜けるたびに歓声が上がり、仲間を応援する声が会場全体に響き渡りました。午後は迫力ある応援合戦からスタート。どの学年団も個性を発揮した応援を披露しました。その後は体育館に移動し、ソフトバレーボールを実施。軽快なラリーが続き、観客席からは熱い声援が飛び交いました。

今年度の体育祭は、テーマとスローガンのとおり、限界を超えて挑戦しようとする姿が随所に見られました。クラスの仲間と力を合わせ、青空へ突き抜けるような一体感を味わえた、思い出深い一日となりました。



1年生



2年生



3年生



能勢ささゆり学園4年生が参加した交流競技では、能勢分校の生徒会長の温かい歓迎の挨拶から始まりました。競技は障害物競走。テニスラケットでボールを運び、ネットをくくり抜け、縄跳びをしながら前方に進み、最後は高校生とじゃんけん！温かい声援と笑顔に包まれた交流競技は、小学生の頑張り、それを支える高校生の姿が印象的で、会場全体が一体となって楽しむことができました。

府立農芸高校より新しい准校長が着任されました



今年度より能勢分校の准校長として着任いたしました、土肥正毅(どひまさき)と申します。着任してまだ3か月ほどですが、私が感じた「能勢分校の魅力」を3つご紹介したいと思います。
1つ目は、「緑豊かな自然環境の中で、のびのびと学べること」です。
2つ目は、「少人数授業を生かし、生徒と教職員の距離が近く、アットホームな雰囲気があること」です。
3つ目は、「地域の皆様とのさまざまな交流や連携があること」です。
これらは、能勢分校が誇る大きな魅力であり、自慢の特色です。今後とも、地域の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和7年度卒業生(6期生)の進路状況



【 四年生大学 】

大学名

酪農学園大学

神戸女子大学

【 専門・各種学校 】

学校名

大阪アニメーションカレッジ専門学校

専門学校大阪デザインアカデミー

京都製菓製パン技術専門学校

関西調理師学校

【 就職 】

企業名

大株式会社ウエダ

自衛隊

北摂オート株式会社

株式会社にしけい

株式会社かに道楽

新得町立レディースファームスクール

社会福祉法人産経新聞厚生文化事業団

日本郵便株式会社

【 その他 】

進学希望・就職希望・就労支援・海外留学・
縁故就職など

人数

進学 6人

就職・その他 14人

合計 20人



能勢分校体験会・学校説明会を開催します

能勢分校の特色ある授業を実際に体験できる「農業授業体験会」、「分校体験会」や「学校説明会」を実施します。各回とも申込受付は約1ヵ月前から開始します。

詳しくは能勢分校HPをご確認ください。皆さまのご参加をお待ちしております！

日時	内容	場所
8月8日(土)	農業授業体験会(食農流通コース)	能勢分校農場
9月5日(土)	分校体験会② (対人支援コース)	能勢分校
10月17日(土)	学校説明会・中高連絡会	池田市民文化会館
11月7日(土)	学校説明会①	能勢分校
12月12日(土)	学校説明会②	能勢分校

「能勢・豊能 課題探究GS・GSⅡ」今年度も本格始動！

～地域と世界をつなぐ能勢分校の探究学習～

能勢分校独自の探究学習「課題探究GS(グローバル・スタディ)」と「課題探究GSⅡ」が、今年度も活発に進んでいます。3年生は2年生後期からGSに取り組み、グローバル(グローバル+ローカル)な視点を持ちながら、地域の課題解決をめざす学びを深めています。探究活動は次の3つのステップで進めています。

- ①自分たちで問いを立てる・・・生徒自身が地域の課題を見つけ、自分たちの視点でテーマを設定
- ②答えのない問いに挑む・・・正解がない課題に向き合い、試行錯誤しながら解決策を探る
- ③実践を通して力を身につける・・・実際の活動を通じて、総合的な思考力や行動力を育てる

能勢・豊能地域は人口減少や高齢化など多くの課題を抱えており、生徒たちは地域の協力者とともに地域の課題を掘り下げ、自分なりの答えを導き出す学びに取り組んでいます。こうした経験は、社会に出てからも役立つ力の習得につながっています。

3年生は7月10日(金)に校内で中間発表会を行い、これまでの成果を共有しました。最終発表会は12月23日(水)に浄るりシアターにて開催します。生徒たちの学びを地域に還元する大切な場となっています。

2年生が北海道へ修学旅行に行きました

2年生は6月23日(火)から26日(金)までの3泊4日で北海道への修学旅行を実施し、『民泊体験』をテーマに十勝地方の農家で過ごしました。到着後は入村式で受け入れ農家の方々と対面し、生徒たちは3人1組でそれぞれの民泊先へ向かいました。体験内容は各家庭で異なり、畑作や酪農、畜産などを通して地域の暮らしを学びます。広大な畑での草取りや収穫、牛舎での餌やりや搾乳などに取り組み、「牛の体温の温かさに驚いた」「畑の広さに圧倒された」といった、実体験ならではの気づきが多く得られました。短いながらも濃密な時間を過ごした後は離村式が行われ、お世話になった皆さんに感謝の気持ちを伝えました。その後、十勝川公園に立ち寄り、雄大な景色を眺めながらトマムにあるホテルへ向かいました。

3日目は全員がラフティングに挑戦。雪解け水を含んだ川の流れは迫力があり、ボートが揺れるたびに歓声が上がりました。仲間と力を合わせてパドルを漕ぐことで、クラスの一体感も高まりました。午後はホテルに戻り、モーモーカートやマウンテンバイクなどの体験を通して北海道の大自然を満喫しました。

4日目はホテルから新千歳空港へ向かい、出発まで買い物や北海道グルメを楽しみました。台風と大雨の影響により飛行機の出発は遅れましたが、全員が元気に大阪へと帰って来ました。現地では天候にも恵まれ、広大な自然と農家の方々との温かな交流、そして仲間とのかけがえのない時間。今回の修学旅行は、生徒たちにとって学びと感動に満ちた、忘れない4日間となりました。



広大な畑！！



牛のお世話もしました



民泊でお世話になった皆さんと



きもちいい～～



迫力満点ラフティング！

農場だより



4月：ニワトリの健康診断



能勢分校農場で管理しているニワトリたちも春に健康診断を受けました。動物管理実習の時間に家畜保健衛生所の職員（獣医師）さんにお越しいただき、採血業務の補助と見学をしました。

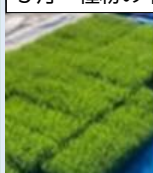
今回の検査は、鳥インフルエンザへの罹患の有無と初生雛時に接種したワクチンの有効性についてで、結果は数日後です。生徒たちは、普段しているニワトリをわが子のように心配していました。今年度もニワトリさんたちと共に学習が進んでいきます。

分校農場で長年栽培している古代米について、今年も栽培実習が始まりました。先輩たちが昨年収穫時に採り置いていた種籾と、播種に使用する器具を丁寧に念入りに消毒するところからスタートします。

種籾は一週間浸水させ、少し芽の出たところで丁寧に播種し、育苗機で温度管理。順調に育った水稻苗は、水をはったプールに移し、5月下旬には生徒自身も田植機を使用し、田植えを行いました。自分たちで育てた立派な苗を丁寧に植えることができました。



5月：種籾の準備から始める田植えの授業



6月：アナフィラキシー症状と対処について研修しました

校医である奥井医院の奥井先生をお招きし、農場職員を対象にハチによるアナフィラキシー症状の具体的な例や、アナフィラキシー症状の予後改善を目的とする薬剤の使用法などを教えていただきました。その後の質疑応答では、実習などで想定される状況を考えて多くの質問が寄せられ、奥井先生から詳細にご説明いただきました。

今後も安全・安心を確保したうえで教育活動を行っていきます。



卒業生からのメッセージ

令和6年度卒業生(5期) 成田杏美さん 陸上自衛官



私は現在、陸上自衛官として勤務しています。前期教育では主に基本教練、規律など自衛官として不可欠なことを学びました。その中でも、25km行進が1番大変でした。重い背囊を背負い長時間歩く中で、心が折れそうになる場面もありました。しかし、同期の存在が大きな支えとなり、互いに励まし合いながら無事に達成することができました。

入隊直後の慣れない環境での生活においては、能勢分校で培ったコミュニケーション能力を活かし、同期と早く打ち解けることができました。その結果、プライベートも充実し、訓練においても団結して科目を達成することができました。

後期教育では配属される職種に関する専門的な知識を学びました。新たな同期との出会いもあり、前期教育の思い出話が盛り上がりすぎました。座学は難しく、新しい知識の取得に苦労しましたが、同期と自習したり教え合いを重ねることで、乗り越えることができました。

現在は10月末より通信科に配属され勤務しています。主な業務は、通信電子機器やレーダー、電源装置などの点検・修理・維持管理です。これからも新しい知識や技術を覚えつつ、様々なことにチャレンジしていきたいと思っています。

みなさんも、不安や大変さを感じることはあると思います。しかし、経験は必ず自分の力になります。仲間を大切にしながら、一つひとつ乗り越えていってください。応援しています。



第4回東西高校生選抜バドミントン大会 大阪府代表 8期生 松石 知哉さん!



東西高校生選抜バドミントン大会は「高校からバドミントンを始めて、全国の舞台へ!」をスローガンとした全国規模の大会です。松石さんも能勢分校生になってからバドミントンを始め、顧問の松本先生の指導の下、メキメキと実力を伸ばし、今大会で大阪府代表の座を勝ち取りました!

＝以下、地域魅力化クラブインスタグラムより抜粋＝

「大阪府代表、おめでとうございます! 3月末に行なわれた大阪府高校バドミントングリーンカップにおいて、1年生(当時)の松石君が見事3位に入賞しました 🥳🌟 この結果を受け、大阪府代表として松石君は大阪で開催される『東西高校生選抜バドミントン大会』(7/23～)への出場が決定しました! 🍀

～松石さんのコメント～

この結果を通して能勢という名が少しでも広まってくれたら僕は嬉しいです。全国大会も頑張ります!! 🏸」



試合前の緊張した背中

能勢・豊能 地域学校連携一貫教育

能勢町では「**小中高一貫教育**」を柱に、「能勢の宝である子どもたちを、学校・家庭・地域・行政が一体となって育てよう」という思いのもと地域ぐるみの連携・一貫教育を進めています。

5月27日(水)：とよの東学園(旧東能勢中学校)の8年生が能勢分校を訪れました。学校説明を受けた後、昨年の課題探究GSの発表動画を視聴し、普段の高校授業の様子と分校の農場を見学しました。今後の進路の指針となることを願っています。

5月29日(金)：ささゆり学園4年生が能勢分校の体育祭に参加しました。元気いっぱい全力で障害物競争を楽しみました。高校生たちが各所でサポートし、お互いに笑顔があふれる交流競技となりました。

6月10日(水)：とよの西学園(旧吉川中学校)の9年生を対象に、分校から食農流通コースと里山起業コース担当教諭が出前授業へ行きました。中学生向けにアレンジした高校の授業を体験してもらいました。

留学生ホストファミリー&サポートメンバー募集

本校では、毎年長期・短期留学生の受入れを行っています。ホストファミリーまたはホストファミリーをサポートしてくれる方を募集しています。ご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

連絡先：豊中高校能勢分校

☎ 072-737-0666

国際交流担当：田中 or 磯田

toyonaka-noseb-hs@gedu.pref-osaka.ed.jp